

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2023年12月28日

事業所名：こどもオーケストラ

サービス種類：児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	訓練スペースとして、ダイナミックな運動支援が可能なルーム1室と、個室のルーム1室を確保している。	1.はい:11 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	引き続き、十分なスペースを支援時に提供できる環境の確保ができるよう、時間あたりの人数など事業所側でできる配慮を実施してまいります。
	2 職員の適切な配置	介護福祉士2名、保育士2名、理学療法士1名、公認心理師1名を配置している。毎日全ての職員が個々のニーズに対応できる状態を目指す。	1.はい:11 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	継続して専門性と資質向上を目指す職員体制を確保し、支援を提供していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	トイレへの手すりの配置や、設備のピクトグラム、可視化を実施している。事故防止のため、角部分には、緩衝材を設置している。	1.はい:10 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:1	継続して必要な配慮を提供するとともに、より視覚的にわかりやすい形とできるよう、既存のものについても改善を試みます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日定期的な次亜塩素酸ナトリウムによる消毒と掃除を実施している。	1.はい:11 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	引き続き清潔な環境で安心して支援を提供できるよう、こまめな清掃を実施していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ケース会議など振り返りは実施しているが、基本的には当日中に職員間で情報共有と確認を実施している。		目標に対する情報交換の頻度に関しては増加しており、持続的に各職員が積極的に参加できるよう環境を整備してまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部アドバイザーによる意見交換などを定期的実施している。		引き続き、業務面に関する助言を基に業務効率の改善並びに客観的な評価を基に環境を調整します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部のアドバイザーのみならず、職員間で各種専門性による研修を都度実施している。また、外部の講習についてもオープニング以降1名が参加している。		引き続き各職員が資質向上のための講習等に参加できるよう、関係機関や情報については逐一職員間で共有を行い希望に応じて対応します。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	外部の発達検査結果のほか、運動機能や障害特性の確認、自宅状況等についてアセスメントを実施し、それに基づく計画を作成している。		引き続き、面談、各種検査情報などを基に、日常生活場面や社会生活場面を想定した計画の作成を続けます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	基本的に個別活動を重視しているが、遊びの発達段階に応じて適宜小集団での活動に展開させていけるような環境調整と、計画の作成を行っている。	1.はい:11 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	物理的な調整は要するものの、引き続き各利用者様が安心して、それぞれのニーズに応じた支援を提供できるよう取り組みます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	随時自宅での様子もヒアリングを行い、計画に基づく具体的な支援機目の設定及び支援内容の記載を行っている。ただし、バイタル等の確認は今後改善の余地がある。		引き続き、お子様とご家族様のニーズを踏まえたうえで、適宜必要な支援方法について、他職種連携しながら個々に応じた支援内容を検討し分かりやすい形での記載を続けます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童発達支援管理責任者が中心となって計画を作成し、職員間で目標共有を行い、随時利用者様に応じたニーズの支援を提供している。	1.はい:11 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	継続して、職員会議での内容を踏襲した個別支援計画書および利用計画書の内容に基づき、支援を提供してまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	ケース会議やモニタリング情報を共有し、担当職員以外の職員も含め、包括的に方針に関する意見交換を行うようにしている。		方針については引き続き全職員が利用者様とその生活背景を踏まえて各専門性から意見を出し包括的な支援ができるよう逐次意見交換や相互理解に努めます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	現状では平日のみの実施となっており、休日に関する支援については今後検討する必要があると考える。一方で、祝日等による振替の利用については積極的に声掛けを実施している。	1.はい:9 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:2	今後地域のニーズや利用状況も勘案し、より利用者様にとって利用しやすく柔軟にサービス提供時間や支援曜日について検討と改訂を進めていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用者様本人の意思を尊重する形としているため、状況によっては一部固定化している点はある。ただし固定化している中でも計画の目標に沿う形での支援は随時実施している。		支援ごとの提供内容や目標、状況について、あらかじめ利用者様にお伝えすることで少しでも安心して、納得していただける形での支援提供を目指します。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼時点で来所予定の利用者様の情報や特性、配慮すべき点については共有を行い、直近の様子も踏まえ職員間で専門性から必要と思われるものについて意見交換を行っている。		現状維持とともに、より意見交換の頻度を増やせるよう努めます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、あるいは終礼時に当日の支援に関する情報共有を実施している。		現状では過不足があるように感じられるため、定期的な症例検討会の実施など各々が意見交換しやすい環境整備に努めます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援記録については当日中の記載を厳守しており、必要に応じて担当職員以外の職員も気づいた点の記載を行っている。内容については妥当か否かを継続的に検討していく。		現状維持と資質向上に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	計画書の作成は基本的には半年に1回ではあるものの、検査所見やアセスメントの状況に応じて職員間で児童発達支援管理責任者へ報告し、必要に応じて改訂している。		現状維持と資質向上に努めます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議あるいは太子町で取り組まれているトライアングル会議に積極的に参加し、包括的な支援ができるよう参加している。		サービス担当者会議については事業所側からの意見交換の質をより向上できるように、必要な情報の吟味に努めます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援については本年度11月から開始となっていることから、具体的な進学などに伴う情報連携の場は回答時点では実施していないが、今後の進学に向けた情報共有の準備は行っている。	1.はい:3 2.どちらともいえない:1 3.いいえ:2 4.わからない:5	今後就学に向けてより具体的な情報共有が必要となったとしても対応できるよう整備に努めてまいります。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	放課後等デイサービスの対象児童が小学生であり、卒業後の進学に関する情報共有は回答時点では実施していないが、必要に応じて情報共有するための準備は行っている。	1.はい:11 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	関係する福祉サービスならびに教育委員会関係者に情報提供などの連携がより強固にできるよう取り組んでまいります。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	関係機関や関係事業所など、官民の別を問わず研修情報については随時職員へも共有を行い、必要に応じて受講している。		現状維持に努めてまいります。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	障がいの無い子ども達と積極的に交流する機会の提供は事業所主体としては実施できていない。	1.はい:3 2.どちらともいえない:1 3.いいえ:2 4.わからない:5	個別支援という形態のため、支援の一環として定型のお子様との接点作りには難しい点があるものの、地域活動の一環として関わる場面は引き続き設定していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に関わった事業の運営	事業所の行事として、地域の総合公園での子育て相談や、体験会、自治体主催のイベントへの出店などを実施している。	1.はい:3 2.どちらともいえない:1 3.いいえ:2 4.わからない:5	事業所側から地域に対して情報発信することは今後も継続していきます。また、今後は事業所への招待も含めて検討していきます。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担については契約時や内容の変更時に随時説明を行い、支援内容については児童発達管理責任者から説明を行っている。	1.はい:11 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	引き続き分かりやすい形での説明を心掛け、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画については児童発達管理責任者から説明をしており、必要に応じて他職種による疑問点などのヒアリングも実施している。	1.はい:11 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	引き続き分かりやすい形での説明を心掛け、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者は最大の療育者として積極的に療育開示のために同席していただいております。時にはお子様の支援に参加していただいております。	1.はい:7 2.どちらともいえない:1 3.いいえ:0 4.わからない:3	普通の支援とは別に、ペアレント・トレーニングなど等の企画できるよう検討してまいります。
	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	学校生活や、日常生活場面でできたことや気になる点は随時利用者様にお聴きするようにし、職員間でも情報共有を行っている。特例的なものを除き、記録としても残している。	1.はい:10 2.どちらともいえない:1 3.いいえ:0 4.わからない:0	引き続きご負担の無い範囲で直近の様子もお伺いさせていただきながら、支援にも取り入れるよう取り組んでまいります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者様の悩みのニーズに合わせ、理学、心理学、保育、介護福祉の観点から助言を行うように対応している。	1.はい:10 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:0	引き続きご負担の無い範囲で直近の様子もお伺いさせていただきながら、支援にも取り入れるよう取り組んでまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	事業所主体での親の会はまだ未実施であるが、各種当事者の会等への積極的な参加を職員に推奨している。	1.はい:3 2.どちらともいえない:2 3.いいえ:2 4.わからない:4	今後は事業所が主体となる親子サロンなどの企画を前向きに検討してまいります。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応の体制については整備しており、その旨は利用者様へも共有している。一方で、対応や情報共有が本当に適したものであるかについては、意見交換を都度行い改善を目指している。	1.はい:8 2.どちらともいえない:1 3.いいえ:0 4.わからない:2	事業所としての対応が本当に適切なものかについては、引き続き全職員間で意見交換を行い資質向上に努めてまいります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚化や手順などの環境調整を実施し、コミュニケーションや予定が想像しやすいよう配慮を行っている。	1.はい:10 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:1	より分かりやすい形での環境調整をどのように整備するかについては課題が残るため、引き続き改善を図ってまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	公式サイトのブログやSNSを通じた情報の発信は行っている。紙ベースのものは発行していない。	1.はい:7 2.どちらともいえない:1 3.いいえ:0 4.わからない:3	SNSやブログの発信については、利用者様に周知しきれていないことは課題であるため、周知しやすい形を作ってまいります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については、鍵がある書庫に保管し、外部へ個人情報漏れがないよう、職員に対しても倫理的な研修を実施している。	1.はい:10 2.どちらともいえない:0 3.いいえ:0 4.わからない:1	引き続きプライバシーが守られた状態で安心してご利用いただけるよう、個人情報保護について周知徹底を行います。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員間においては各マニュアルの周知を行っている。利用者様の見える位置にマニュアルは配置しているものの、具体的な項目の説明までは実施できていない。	1.はい:7 2.どちらともいえない:2 3.いいえ:0 4.わからない:1	マニュアルがどこにあるか、何が書かれているかなどは保護者様に直接お伝えできていない点ではあるためより分かりやすい位置への配置など検討してまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回災害時の避難訓練を実施している。ただし、支援中での実施が難しいため、利用者様が来所していない時間帯に職員間で実施している。	1.はい:6 2.どちらともいえない:2 3.いいえ:0 4.わからない:4	職員のみでの実施となっているため、より安心していただけるよう実施状況についての情報発信を改善してまいります。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修については、オープニング時に研修を実施しており、今後も定期的に実施するほか、自治体で開催される虐待防止研修への参加も予定している。		引き続き研修を実施するとともに、必要な情報の取捨選択と実施計画も含め、より周知徹底できる形で実施できるよう努めてまいります。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ない場合の身体拘束については重要事項説明書を通し契約時に説明はしている。ただし身体拘束の実施は現状行っていない。		身体拘束は行っていないが、各種支援に対する事前説明の不足は課題として残るため、引き続き資質向上と合意の上での支援が提供できるよう取り組んでまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	飲食物の提供は事業所では実施していないが、アレルギーの有無については確認するようにしている。		現時点においては事業所側からの飲食物の提供については実施しない形ではあるが、引き続きアセスメント等を通してアレルギーの状況については確認してまいります。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	リスクを可能な限り減らしているが、インシデントにつながる可能性があるものについては随時ヒヤリハットを作成し、職員間で共有を行っている。		引き続き些細なリスクや可能性についても記録として残していき、可能な限り事故のリスクを低減させられるよう、作成と情報の周知を実施してまいります。